

セラミック成分配合

幅広い素地に適応し、優れた低汚染性、高耐候性により建物の美観を長期間維持します。

環境配慮型低汚染弱溶剤型塗料

シルビアンADシリーズ

【初版】

●2液弱溶剤シリコン樹脂塗料●

シルビアンADシリコン



●2液弱溶剤ウレタン樹脂塗料●

シルビアンADウレタン



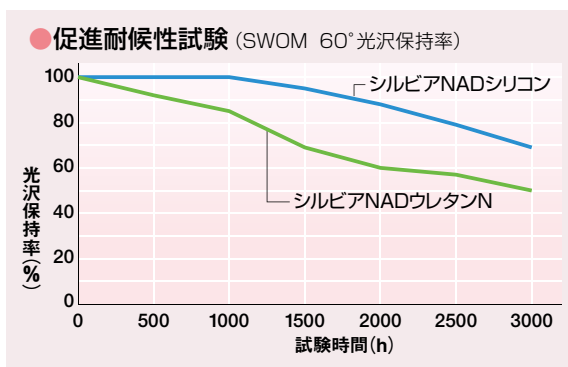
特長

1 幅広い素地適正

各種複層仕上材の上塗り、モルタル、スレート、サイディングボードなどの外壁や鉄部、硬質塩ビ管、FRP貯水タンクなどの塗り替えに幅広く使用できます。

2 高い耐候性を発揮

弱溶剤型塗料でありながら、強溶剤型塗料と同等の耐久性を発揮。紫外線、酸性雨をはじめ、過酷な環境から建物をまもります。



3 低汚染性を長期間維持

特殊変性の高分子樹脂を使用することにより、優れた耐汚染性を実現。長期にわたり汚れからまもります。

4 かびや藻の発生を抑制

優れた防かび・防藻性をもつ特殊薬剤を配合。微生物の発生を抑えます。

5 美しい仕上がり

肉もちのよい高級感のある仕上がり面が得られます。

6 優れた作業性

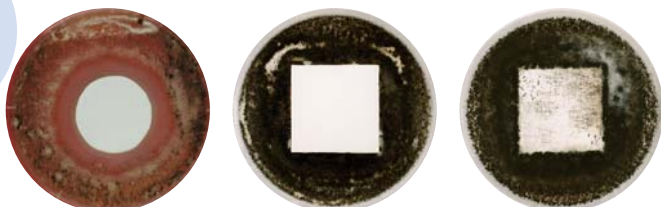
弱溶剤を使用しているため、強溶剤型塗料と比較して臭気が少なく、作業環境が向上します。

7 環境にやさしい

有害な鉛やクロムを配合せず、人や環境に与える影響が少ない環境配慮型の塗料です。

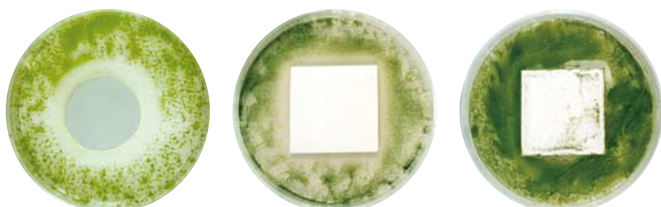
塗膜性能

●防かび性 MIL変法 試験菌21菌 28日間



▲シルビアンADシリコン ▲シルビアンADウレタン ▲一般塗料

●防藻性 自社試験法 試験藻10菌 28日間



▲シルビアンADシリコン ▲シルビアンADウレタン ▲一般塗料

●耐汚染性 東京都 南面30° 6カ月間 屋外暴露



▲シルビアンADシリコン ▲一般塗料



▲シルビアンADウレタン ▲一般塗料

標準塗装仕様

● 改修標準仕様 [一般壁面、一般鉄部、非鉄金属部]

工程	材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●粉化物、付着物、エフロレッセンスなどは、ワイヤーブラシなどを使用して除去したのち、高圧水洗機で清掃を行なってください。 ●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜は、ケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは、電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。						
下塗り	●エポラオールプライマー A液 ……………1.4kg ● “ ” B液 ……………2kg ※原液のまま使用してください。	1~2 回※1	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.13~0.16	100~123㎡	3時間以上 72時間以内
上塗り 上塗りは 右のどちらかを お選びください。	●シルビアNADシリコン A液 …………… 1.2kg ● “ ” B液 …………… 2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~0.7kg ●塗料用シンナーA(スプレー) …………… 1.4kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	93~116㎡	3時間以上 72時間以内
	●シルビアNADウレタンN A液 ……1.3.5kg ● “ ” B液 …… 1.5kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~0.8kg ●塗料用シンナーA(スプレー) …………… 1.5kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	100~125㎡	2時間以上

- サビが発生しやすい溶接部、入隅出隅部、または、サビが発生している箇所は、入念なケレン処理後、補修塗りを行なってください。
- 適用素地・適用既存塗膜は、エポラオールプライマーカタログをご確認ください。
- ※1: 吸い込みのある下地の場合、2回塗りを行なってください。

● シルビアサーフ大波工法改修仕様

工程	材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●粉化物、付着物、エフロレッセンスなどは、ワイヤーブラシなどを使用して除去したのち、高圧水洗機で清掃を行なってください。 ●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜は、ケレン工具を用いて除去してください。						
下塗り	●シルビアサーフ …………… 16kg ●清水 …………… 0~0.5kg	1回	●砂骨ローラー	—	0.8~1.5	10~20㎡	12時間以上 72時間以内
上塗り 上塗りは 右のどちらかを お選びください。	●シルビアNADシリコン A液 …………… 1.2kg ● “ ” B液 …………… 2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~0.7kg ●塗料用シンナーA(スプレー) …………… 1.4kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	93~116㎡	3時間以上 72時間以内
	●シルビアNADウレタンN A液 ……1.3.5kg ● “ ” B液 …… 1.5kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~0.8kg ●塗料用シンナーA(スプレー) …………… 1.5kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	100~125㎡	2時間以上

● 一般鉄部改修仕様

工程	材料の調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●粉化物、付着物などは、ワイヤーブラシなどを使用して除去したのち、高圧水洗機で清掃を行なってください。 ●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜は、ケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは、電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。						
下塗り	●エポラ#1プライマー …………… 1.6kg ※原液のまま使用してください。	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	—	0.13~0.16	100~123㎡	3時間以上 72時間以内
上塗り 上塗りは 右のどちらかを お選びください。	●シルビアNADシリコン A液 …………… 1.2kg ● “ ” B液 …………… 2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~0.7kg ●塗料用シンナーA(スプレー) …………… 1.4kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	93~116㎡	3時間以上 72時間以内
	●シルビアNADウレタンN A液 ……1.3.5kg ● “ ” B液 …… 1.5kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~0.8kg ●塗料用シンナーA(スプレー) …………… 1.5kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	100~125㎡	2時間以上

- サビが発生しやすい溶接部、入隅出隅部、または、サビが発生している箇所は、入念なケレン処理後、補修塗りを行なってください。

● トップコート塗り替え仕様 [吹き付けタイル、サイディングボードなどのトップコート塗り替え仕様]

工程	材料の割合 (重量比)	塗り回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●粉化物、付着物、エフロレッセンスなどは、ワイヤーブラシなどを使用して除去したのち、高圧水洗機で清掃を行なってください。						
上塗り 上塗りは 右のどちらかをお 選びください。	シルビアNAD シリコン	●シルビアNADシリコン A液 ……12kg ● “ ” B液 ……2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~0.7kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……1.4kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	93~116m ² 3時間以上 72時間以内
	シルビアNAD ウレタンN	●シルビアNADウレタンN A液 ……13.5kg ● “ ” B液 ……1.5kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~0.8kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……1.5kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	100~125m ² 2時間以上

● FRP製貯水槽防藻塗り替え仕様

工程	材料の割合 (重量比)	塗り回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●粉化物、付着物などは、ワイヤーブラシなどを使用して除去したのち、高圧水洗機で清掃を行なってください。 ●被塗面の目粗しは、研磨紙P220~320を用い均一に行なってください。 ●被塗面は、下塗の塗布前に、アセトンで十分にふき取りを行なってください。						
下塗り	●シルビアNADウレタンN ブラックA液 ……13.5kg ● “ ” B液 ……1.5kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~0.8kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……1.5kg	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	100~125m ²	2時間以上
上塗り 上塗りは 右のどちらかをお 選びください。	シルビアNAD シリコン	●シルビアNADシリコン A液 ……12kg ● “ ” B液 ……2kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~0.7kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……1.4kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	93~116m ² 3時間以上 72時間以内
	シルビアNAD ウレタンN	●シルビアNADウレタンN A液 ……13.5kg ● “ ” B液 ……1.5kg ●塗料用シンナーA(ローラー、刷毛) ……0~0.8kg ●塗料用シンナーA(スプレー) ……1.5kg	2回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.12~0.15	100~125m ² 2時間以上

※2: 素地に離型剤が残っている場合は、適切な処理を行ない除去してください。

荷姿

製品名	色	荷姿
シルビアNADシリコン	各色(艶あり) 艶調整: 7部艶あり、5部艶あり、3部艶あり	14kgセット(A液: 12kg B液: 2kg) 3.5kgセット(A液: 3kg B液: 0.5kg) ※B液は別途弾性タイプもあります(2kg、0.5kg)
シルビアNADウレタンN	各色(艶あり)	15kgセット(A液: 13.5kg B液: 1.5kg) 4kgセット(A液: 3.6kg B液: 0.4kg) ※B液は別途弾性タイプもあります(1.5kg、0.4kg)
エボラオールプライマー	グレー、赤さび、遮熱ホワイト	16kgセット(A液: 14kg B液: 2kg) 4kgセット(A液: 3.5kg B液: 0.5kg)
エボラマイルドプライマーS	淡褐色透明	28kgセット(A液: 14kg B液: 14kg) 14kgセット(A液: 7kg B液: 7kg)
エボラ#1プライマーN	グレー、赤さび	16kg
エボラ#3プライマー	白、赤さび ※1.1kgセットは白のみ	16.5kgセット(A液: 15kg B液: 1.5kg) 1.1kgセット(A液: 1kg B液: 0.1kg)
シルビアEプライマー	白	16kgセット(A液: 14.4kg B液: 1.6kg)
シルビアサーフ	白	16kg
塗料用シンナーA	—	16ℓ
エボラ#3シンナー	—	16ℓ、4ℓ
シルビアEシンナー	—	16ℓ、4ℓ

適用素地について

●アクリルリシン、吹付タイル、弾性タイル(弾性タイプ)、単層弾性、アクリルスタッコ、一般鉄部、塩ビパイプなど。

【施工上の注意事項】

- ①粗面やALC面、多孔質下地など、素地に問題がある場合は「NTカチオンシリーズ」などを使用して、素地調整を行なってください。
- ②表面のチョーキング、ゴミ、かび類、藻類、レイタンスなどは除去し、目洗い、ジャンカ、コールドジョイントなどは適切な下地処理を行なってください。
- ③高圧水洗機が使用できない場合はホースで水を流しながらブラシなどを使用し、ホコリ、かび類、藻類を完全に除去してください。
- ④油分が付着している場合は中性洗剤などを使用し、除去してください。
- ⑤サビが発生している場合はワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去して、金属用のプライマーを施工してください。
- ⑥高圧水洗機やエアレススプレー塗装では、施工中のミスト飛散防止の養生を行なってください。
- ⑦既存塗膜を侵しリフティング(塗膜のチヂリ)やフクレが発生する場合がありますので、既存塗膜を必ず確認の上で塗装仕様を決定してください。
- ⑧夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料をいれたまま放置しますと、つまりの原因となります。
- ⑨風化面、吸い込みの多い下地の場合は再度、専用のプライマーなどを増し塗りしてください。
- ⑩素地の種類によっては下塗り塗料の選定および試験施工が必要になります。
- ⑪既存塗膜の劣化状況によってはプライマーや目粗しが必要になります。
- ⑫塗料の使用量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- ⑬シーリング面への塗装は塗膜の汚染や剥離、収縮割れが発生する場合がありますので極力行わないでください。やむを得ず使用する場合はシーリング材が完全硬化した後に、硬化剤は弾性B液を使用してください。
- ⑭シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類などにより、塗膜が付着しない場合や汚染することがありますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所までお問い合わせください。
- ⑮目地幅や隙間幅が大きい場合や建物やボードの動きの激しい部位のシーリング部への塗装は塗膜が割れる場合がありますので避けてください。
- ⑯塗装方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで若干の色相差や光沢差がでることがあります。とくに補修塗りを行なう際、ローラー塗り、刷毛塗りが混在しますので、その場合は同一希釈量で行ない、補修塗りは最小範囲で行なってください(目立ちにくくなるように塗装してください)。
- ⑰ローラーや刷毛など同一面で塗装方法が異なる場合、使用量や塗装表面状態が異なるため若干色が変わって見えますのでご注意ください。また、ローラー塗りの場合はローラーの目により、仕上り色が異なって見えることがありますので、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。
- ⑱気温が5℃以上で塗装は可能としておりますが、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- ⑲規定の塗布量が塗られていない場合、本来の塗膜性能が発揮されない場合がありますので標準塗布量を守って塗装してください。
- ⑳コンクリートの表面は十分に乾燥させてください(表面含水率10%以下(ケット科学社製CH-2型)または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジ))。
- ㉑シーリング材の劣化などがある場合には打ち替えを行なってください。
- ㉒塗り替え塗装で既存塗膜が弾性スタッコ、弾性リシン、アクリルトップの場合、既存塗膜がすでに彫れている、また既存塗膜の表面にピンホール(細かな気泡)が生じている場合があります。その上に塗装しますと彫れがさらに大きくなる可能性がありますので、上記の場合は既存塗膜を完全に除去してください(とくに部材が軽量モルタル、ALCパネル、窯業系サイディング、発砲ウレタンなどを使用した断熱工法の外壁の場合は注意が必要です)。
- ㉓艶調整品は塗り継ぎや補修などでムラが出やすくなりますので、面を区切って施工してください。
- ㉔艶調整品は艶消し剤が沈降している場合や塗料が分離している場合、攪拌機を用い十分に攪拌し、均一な状態にして塗装してください。
- ㉕艶調整品は下地の状態や膜厚、希釈量、塗装間隔により、ムラが生じたり、実際に希望している艶と異なる場合があります。必ず艶を確認し、塗装条件はなるべく同一条件で塗装してください。
- ㉖使用後は塗装器具メーカーの指示に従い、適切な洗浄および保管をしてください。
- ㉗希釈率は試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。ただし、希釈率は色や施工条件により、変化しますのでご了承ください。
- ㉘建物の構造や部位、仕上げ、環境条件などによっては本来の低汚染が発揮されない場合があります。
- ㉙著しくかびや藻の発生しやすい環境下では防かび、防藻効果が十分に発揮されない場合があります。
- ㉚塗料の過剰希釈は仕上り不良になることがあります。規定内の希釈量で塗装してください。また、塗料が濃色の場合、色相によっては2回塗りでは隠れない場合があります。その場合は塗り回数を増やしてください。
- ㉛材料の保管は直射日光を避け、雨露のあたらない冷暗所に保管してください。
- ㉜本塗料およびシンナーはすべて引火性がありますので、冷暗所に保存し、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください。また、衛生上、塗装の際に有機溶剤の蒸気を吸わないように注意してください。
- ㉝3~7部艶あり仕上げを行なう場合、上塗り1回目に「艶あり」上塗り2回目に「3~7部艶あり」を使用してください。
- ㉞FRP、塩ビに直接塗装する場合は、素地調整で目粗しを行なってください。特に、塩ビについては、非常に密着し難い場合がありますので、あらかじめ試験施工を行なってください。
- ㉟既存塗膜がOP、FEなど油性系の場合、十分に目粗しを行なってください。目粗しが不十分な場合は、剥離の原因となります。

「シルビアンNADシリーズ」の安全衛生上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は、ABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください(水系塗料は凍結を避けてください)。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 詳細は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

お問い合わせ先

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 | ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323 |
| 平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 | ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739 |
| 名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 | ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 | ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560 |
| 広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256 |
| 福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 | ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762 |

●日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>

代理店